

原文

「九・三〇事件」の経緯について誤解するおそれのある表現である。

インドネシアは、マレーシア連邦が^{ほっそく}発足した時これに反対して、国連を脱退して中・ソに接近した。1965年、スカルノ引退後に不安をもったインドネシア共産党が^{ほうき}蜂起したが、軍部はこれを^{かいめつ}壊滅し（九・三〇事件）、翌年成立したスハルト政権は反共・経済安定政策をとり、国連にも^{ふっき}復帰した。
1921-

修正文

インドネシアはマレーシア連邦と対立して中国に接近するいっぽう、1965年に国連を脱退した（66年^{ふっき}復帰）。同年、軍の一部がクーデタ（九・三〇事件）をおこすと、スハルトが^{しき}指揮する政府軍がこれを^{ちんあつ}鎮圧し、以後、共産党を^{かいめつ}壊滅させ、多くの中国系住民を^{ぎやくまつ}虐殺したといわれる。スハルトは、1968年に大統領に就任、98年に辞任するまで反共・経済開発政策をとった。